

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体		
堺区子育てつながるプロジェクト					堺区役所 子育て支援課		
事業目的		事業効果		活動指標	R3	R4	R5
地域の子育て支援活動に子育て家庭を繋げていくことを目的に、本庁敷地内に整備された『堺保健センター』及びジョルノビル3階に開設された『さかいっこひろば』との連携・協働を当課の支援事業の中心に位置づける。また、これらの事業に地域の子育て支援活動者の参加を進めていくことで、より身近で支援を受けられる各校区の子育て支援活動に子育て家庭を繋げていく。		・子育て中の親子が交流し、互いに支え合う場となる（子育て家庭同士のつながり） ・保護者が安心して子育てができることで、親子の愛情が深まる（親子のつながり） ・地域の子育て資源（子育てサロン・サークル、みんなの子育てひろば、保育施設の園庭開放等）に関する情報提供をすることで、身近にある地域の子育て資源の利用につながる（地域とのつながり） ・行政等関係機関から子育てに関する相談対応や情報提供を行うことで、子育て家庭が関係機関に対し、気軽に相談できる関係を築くことができる（相談機関とのつながり）		実施回数 参加者数	○オンライン事業8回（計38組） ○さかいっこひろば主催事業2回（計10組） ○さかいっこひろば訪問事業（年度合計150組） ○堺保健センター訪問事業（計10回） ○みんなの子育てひろば等支援（計4回）	○オンライン事業 8回（計32組） ○さかいっこひろば主催事業7回（計36組） ○さかいっこひろば訪問事業（合計209組） ○堺保健センター訪問事業（計18回） ○みんなの子育てひろば等支援（計10回）	○オンライン事業 2回（計20組） ○さかいっこひろば主催事業6回（計36組） ○さかいっこひろば訪問事業（合計208組） ○堺保健センター訪問事業（計35回） ○みんなの子育てひろば等支援（計29回） ○その他子育て支援事業14回実施（計185組）
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	堺区は他区に比べ転入家庭が多く、親族等支援者が身近にいない家庭も多い。安心して子育てができるように、相談やサービス利用の機会を今後も作っていく必要がある。	○	『さかいっこひろば』と協働し、身体計測、子育て講座等の実施している。また、子育て家庭に子育てサロン・サークルの周知をするために、地域を限定した子育てイベント「堺まちこどもスマイルDAY」を開催。そこに子育てサークル・サロンの他、堺保健センター、子育てアドバイザー、公立子ども園、社会福祉協議会も参加し情報提供を行ってもらった。	△	堺市の子育て支援施設としての『さかいっこひろば』と今後も連携して実施していくことで堺区のアピールにつなげていく。	△	保育園入園申請に向けての手続きや準備の仕方について、オンラインにて講座を実施した。産後間もない保護者もアクセスしやすく、開催する側も大きな会場の確保や会場準備の必要はなく、効率的に実施できる。
⑤自立発展性		総合評価					
○	地域と子育て家庭をつなぐため、スマイル訪問でのサークル・サロンの紹介や堺まちこどもスマイルDAYの開催等、地域で地域による子育てが実施できるように支援している。	○	『さかいっこひろば』への毎月の訪問事業は定着し、対面で気軽に専門職に相談できる機会となっている。地域と保護者の関係をつなぐことを目的に、地域や各関係機関と協働し、堺まちこどもスマイルDAYを今年度も実施。アンケート結果でも、市民と地域の両者から大変好評を得ることができた。また、今年度から保護者同士の交流の機会を増やし、ピアサポートの強化に努めた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	対面実施の事業がコロナ前と同様に戻り、『さかいっこひろば』での主催事業（育児講座）、及び毎月1回の訪問事業（身体計測）は、多数の親子連れの参加があった。訪問事業は乳幼児期の子どもの身体計測を行いながら、それをきっかけに相談につながり、気軽に相談できる機会として定着しているため、継続していく。 堺保健センターとの連携では、4か月健診時に当課職員が訪問し、育児支援ヘルパー等のサービスや保育所等の子育て情報の案内を行った。少し聞きたいというニーズに答えることができています。 地域連携事業は子育てサロン・サークルに訪問を行い、参加親子や運営スタッフへの支援を行った。子育てサロン・サークルの周知と共に、訪問を含めた支援を行っていきたい。 毎年、育児支援ヘルパーや産後ケア事業等サービスの申請数が増えている。サービス終了後も、孤立化することなく子育てをしていけるよう支援をしていきたい。						